

科目名	英語特講 B Advanced English Communication B	科目コード	10570
-----	--	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	木村 博子（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義58，その他2】
教科書	配布資料
補助教材	英文法参考書「総合英語 Forest」など
参考書	英和・和英辞典

【A. 科目の概要と関連性】

英語によるスピーチやプレゼンテーションを行う上で必要とされる知識・技術について学習し、人前でのスピーチやプレゼンテーション（質疑応答を含む）の実践を行う。本科目は長岡技術科学大学アドバンストコースの「協働科目Ⅰ」の一つである（受講生は必ずしも長岡技術科学大学のアドバンストコース生になる必要はない）。

○関連する科目：英語Ⅲ（4年次履修），コミュニケーション特講（4年次選択）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 英語によるスピーチ・プレゼンテーションに必要な知識・技術（ブレインストーミングなど）を確実に習得する。	30%	(b3)
② パワーポイントを使用し、英語でスピーチ・プレゼンテーションができる。	40%	(b3)
③ 英語での質疑応答が的確にできる。	30%	(b3)

【C. 履修上の注意】

- ・人前でのスピーチやプレゼンテーションに積極的に参加することが求められる。
- ・外部講師の講義・講演が多く含まれるため、授業計画に変更出る可能性があり、かつ補講ができないことがあるので注意すること。
- ・スピーチやプレゼンテーションの準備としてエッセイを書く課題がある。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 英語によるスピーチ・プレゼンテーション（70%）
- その他（30%）[課題・授業への参加・発言など]

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	パワーポイントの作成方法と説明方法	
3	プレゼンテーション①(グループ)	
4	研究分野・企業における英語①	
5	スピーチ①(外部講師の話の要約と感想)	
6	構成と基本表現 1	外部講師
7	構成と基本表現 2	外部講師
8	プレゼンテーション②(ペア)	外部講師
9	第 8 回のプレゼンテーションに対するフィードバック	
10	論理的思考方法 1	外部講師 (長岡技大)
11	論理的思考方法 2	外部講師 (長岡技大)
12	構成と基本表現 3(転換語と英語の情報構造)	
13	プレゼンテーション④(個人)	
14	プレゼンテーション⑤(第 13 回のプレゼンの修正版)	
—		
15	発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	基本表現の実践練習(質疑応答)	
2	論理的思考方法 3	外部講師 (長岡技大)
3	論理的思考方法 4	外部講師 (長岡技大)
4	論理的思考方法に関する日本語と英語の違い	
5	発表会課題の決定と調査	
6	発表会に向けての準備	
7	発表会の予行演習 (グループ内発表)	外部講師
8	第 7 回プレゼンテーションに対するフィードバック	
9	発表会プレゼンテーション内容の修正	
10	研究分野・企業における英語②	外部講師
11	スピーチ②(外部講師の話の要約と感想)	
12	発表会プレゼンテーション予行練習(個人)	
13	発表会	発表会
14	発表会プレゼンテーションに対するフィードバック	
—		
15	発展授業	